

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		男女共同参画推進事業		担当課	人権推進課
総合計画	政策	ひと		計画期間	平成 8年度～
	施策	人権の尊重と多文化共生社会の実現		種別	任意の事務
	基本事業（取組）	男女共同参画意識の向上		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-020704-01 単独	根拠法令・条例等	守谷市男女共同参画推進条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
総理府（現在は内閣府）に男女共同参画室・審議会及び推進本部が設置されたことを受け、男女共同参画への取組みが始まった。市では、男女共同参画推進条例をもとに、その理念の実現のための計画を策定し、それに基づいた事業を行っている。	男女それぞれが自立し、自らの個性と能力によって多様な選択の幅を広げ、お互いを尊重し合い、対等なパートナーとして共に積極的に社会に参画することができる「男女共同参画社会」の早期実現のため下記の事業を行う。 ・男女共同参画に関するセミナーやフォーラムの開催による啓発 ・小中学生対象の啓発出前講座開催。 ・子育て中の方でも市事業に参加しやすい環境を整えるための保育ルームの開設。 ・広報もりやに男女共同参画に関する啓発記事を掲載。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民及び市内事業者が市や市民団体が開催するセミナーやフォーラムに参加することで、性別による固定的役割分担意識の解消など、男女平等意識づくりを行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
男女がともに責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮するために、固定的な性別役割分担意識がなくなるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会や研修会といった事業を開催することができなかった。	男女共同参画に加えて、ダイバーシティ&インクルージョンの推進が取組に加わった。 新型コロナウイルス感染症の余波が残る中、大規模な啓発事業は行えなかったが、「守谷市ダイバーシティ宣言」の制定、「いばらきダイバーシティ宣言」への賛同、ダイバーシティ&インクルージョンについて係長級職員を対象とした研修会の開催を行い、新しい考えの定着に向けた事業を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
セミナー・フォーラム・啓発の延べ参加者数（人）	0.00	891.00	660.00	0.00	0.00	34.00	250.00
セミナー・フォーラム・啓発事業の開催数（回）	0.00	3.00	5.00	0.00	0.00	1.00	5.00
成果の動向（→その理由）							
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	コロナ禍が続いている中にありながら、ほとんど何も行えなかった前年度と比べて、宣言を制定したことや研修会が開催できたことは、一定の成果をあげることができた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	「ダイバーシティ社会」・「男女共同参画社会」の実現に向け、ダイバーシティ&インクルージョンや男女共同参画について、引き続き継続的に推進していく必要がある。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	17	66	139	406	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0
	一般財源	17	66	139	405	0
正職員人工数（時間数）		635.00	388.00	560.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,570	1,501	2,159	0	0
トータルコスト		2,587	1,567	2,298	406	0